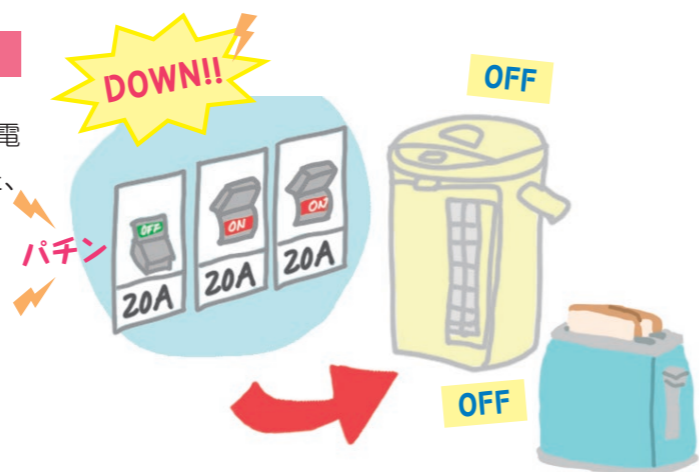


1 電気設備と確認

■ ご家庭で電気が消えたとき

家の中の一部が消えている場合

多くの電気製品を同時に使用したため、過剰な電気が流れた（過電流）ことが考えられます。また、電気製品等の不具合も考えられます。分電盤の安全ブレーカーを確認してください。



家じゅうの電気が消えている場合

漏電が発生した可能性があります。漏電ブレーカーを確認してください。

① 安全ブレーカーをすべて切る



② 漏電ブレーカーを入れる



③ 安全ブレーカーを1つずつ入れる



ご近所も消えている場合

電力会社の設備による停電とされます。関西電力にお問い合わせください。



詳しくは、関西電気保安協会または関西電力のホームページをご覧ください。

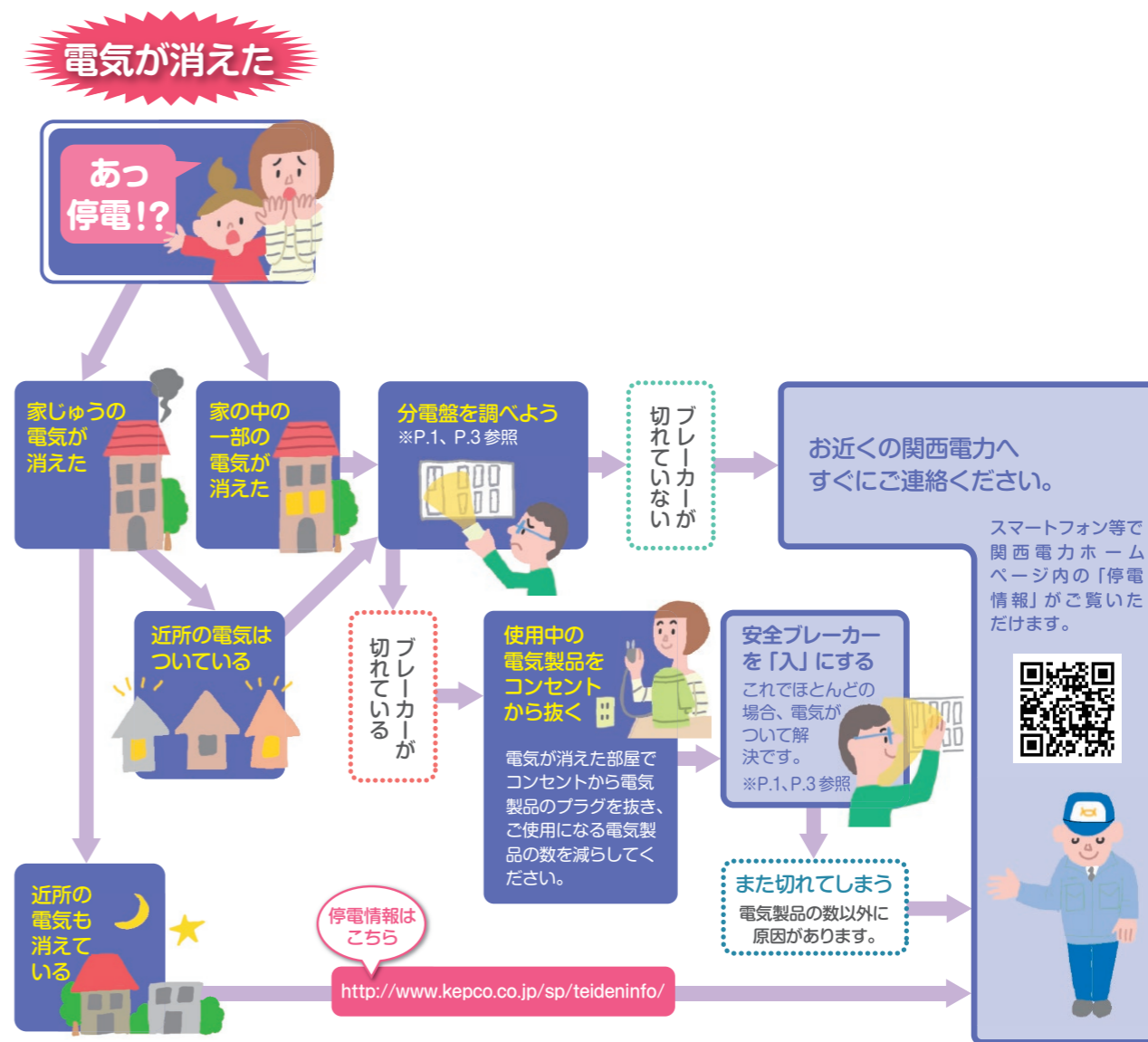
ksdh 検索 クリック 「電気の情報」→「電気の基礎知識」→「ご家庭で電気が消えたときは」

■ 家の電気が消えたときの対処法

家の電気が消えたときはつつい慌ててしまいますが、まずは落ち着いて停電状況を確認しましょう。

停電時には、固定電話・IP電話は、一部を除き、基本的に利用できなくなります。携帯電話等の代替手段をご利用ください。
また、予備電源（市販のバッテリーやUPS（無停電電源装置））を導入する方法もございます。詳しくは下記総務省のホームページよりご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/teiden.html



http://www.kepco.co.jp/sp/teideninfo/

スマートフォン等で
関西電力ホーム
ページ内の「停電
情報」がご覧いた
だけます。

